

2021年度【収支計算書】

事業活動収支計算書

(2021年 4月 1日～2022年 3月31日)

単位：円

教育活動収支	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	1,375,564,000	1,377,639,860
	手数料	13,500,000	15,341,900	△ 1,841,900
	寄付金	104,430,000	110,131,920	△ 5,701,920
	経常費等補助金	55,000,000	66,482,407	△ 11,482,407
	付随事業収入	200,987,000	210,875,177	△ 9,888,177
	雑収入	420,557,000	367,736,766	52,820,234
	教育活動収入計	2,170,038,000	2,148,208,030	21,829,970
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,015,541,000	1,001,448,222
	教育研究経費	858,005,000	895,681,229	△ 37,676,229
	管理経費	483,183,000	485,848,280	△ 2,665,280
	徴収不能額等	270,000	560,561	△ 290,561
	教育活動支出計	2,356,999,000	2,383,538,292	△ 26,539,292
	教育活動収支差額	△ 186,961,000	△ 235,330,262	48,369,262
教育活動外収支	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	2,550,000	2,550,000
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,550,000	2,550,000	0
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外収支差額	2,550,000	2,550,000	0
	経常収支差額	△ 184,411,000	△ 232,780,262	48,369,262
特別収支	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	46,000
	その他の特別収入	129,573,000	130,969,656	△ 1,396,656
	特別収入計	129,573,000	131,015,656	△ 1,442,656
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	0	506,195
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	506,195	△ 506,195
	特別収支差額	129,573,000	130,509,461	△ 936,461
	基本金組入前当年度収支差額	△ 54,838,000	△ 102,270,801	47,432,801
	基本金組入額	△ 232,427,000	△ 163,034,763	△ 69,392,237
	当年度収支差額	△ 287,265,000	△ 265,305,564	△ 21,959,436
	前年度繰越収支差額	△ 5,213,344,869	△ 5,213,344,869	0
	基本金組戻額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 5,500,609,869	△ 5,478,650,433	△ 21,959,436

資金収支計算書

(2021年 4月 1日～2022年 3月31日)

単位：円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,375,564,000	1,377,639,860	△ 2,075,860
手数料収入	13,500,000	15,341,900	△ 1,841,900
寄付金収入	230,430,000	236,131,920	△ 5,701,920
補助金収入	55,000,000	66,482,407	△ 11,482,407
資産売却収入	0	46,000	△ 46,000
付随事業・収益事業収入	200,987,000	210,875,177	△ 9,888,177
受取利息・配当金収入	2,550,000	2,550,000	0
雑収入	420,557,000	367,736,766	52,820,234
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	822,687,000	709,699,550	112,987,450
その他の収入	559,372,000	573,387,239	△ 14,015,239
資金収入調整勘定	△ 920,391,000	△ 934,420,878	14,029,878
前年度繰越支払資金	945,500,255	945,500,255	0
収入の部合計	3,705,756,255	3,570,970,196	134,786,059
支出の部			
人件費支出	1,015,541,000	1,001,448,222	14,092,778
教育研究経費支出	522,233,000	560,343,888	△ 38,110,888
管理経費支出	470,743,000	475,067,514	△ 4,324,514
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	86,549,000	99,740,740	△ 13,191,740
設備関係支出	145,888,000	119,976,281	25,911,719
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	535,525,000	562,521,684	△ 26,996,684
資金支出調整勘定	△ 151,653,000	△ 213,255,457	61,602,457
翌年度繰越支払資金	1,080,930,255	965,127,324	115,802,931
支出の部合計	3,705,756,255	3,570,970,196	134,786,059

貸借対照表

2022年 3月31日現在

単位：円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
固定資産	5,956,081,693	固定負債	32,747,792
(有形固定資産)	5,690,488,794	流動負債	953,585,398
(特定資産)	0	負債の部合計	986,333,190
(その他の固定資産)	265,592,899	純資産の部	
流動資産	1,238,950,666	基本金	11,687,349,602
		繰越収支差額	△ 5,478,650,433
		純資産の部合計	6,208,699,169
資産の部合計	7,195,032,359	負債及び純資産の部合計	7,195,032,359

財 産 目 録

学校法人ホンダ学園

令和4年3月31日現在

科 目	金 額
一 資 産 額	
(一) 基本財産	5,889,592,097 円
1. 土地	
校地	2,919,536,636 円
2. 建物	
校舎	2,249,806,734 円
3. 構築物	41,290,856 円
4. 教具・工具・備品	442,951,197 円
5. 図書	16,722,594 円
6. その他	219,284,080 円
(二) 運用財産	1,305,440,262 円
1. 預金、現金	965,127,324 円
2. その他	340,312,938 円
合 計	7,195,032,359 円
二 負 債 額	
1. 固定負債	32,747,792 円
(1) 長期未払金	32,747,792 円
2. 流動負債	953,585,398 円
(1) 未払金	193,800,676 円
(2) 前受金	709,699,550 円
(3) その他	50,085,172 円
合 計	986,333,190 円
差引正味財産	6,208,699,169 円

監事監査報告書

令和4年5月25日


学校法人ホンダ学園

理事長 安部 典明 殿

評議員会議長 殿

学校法人ホンダ学園

監事

鈴木雅文 

監事

梅澤一徳 

私たちは、私立学校法第37条第3項、及び学校法人ホンダ学園寄附行為第18条1項4号の規定に基づき、学校法人ホンダ学園の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務並びに財産の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人ホンダ学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）、並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

以上

学校法人ホンダ学園 2021年度 事業実績報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

I. 法人の概要

1. 教育方針

当学園は、創設者 本田宗一郎の次の理念に基づいて、教育を行っています

<建学の志>

ホンダ学園は世界に歓迎される人間の育成を使命とする

<学園の目的>

チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者を育成する

<育成方針>

世界に歓迎される為の・・・

- ・マナーとマインドを磨く
- ・実践第一の技術力を学び取る
- ・社会貢献の心と行動力を育む

2. 設置する学校と学科

(1) 設置する学校

ホンダ テクニカル カレッジ 関東

ホンダ テクニカル カレッジ 関西

(2) 設置する学科と修業年限・定員 (2022年3月31日現在)

<ホンダ テクニカル カレッジ 関東>

学科名	修業年限	2021年度 入学定員	2年次	3年次	4年次	総定員
自動車整備科	2年	120名	120名	----	----	240名
一級自動車研究開発学科	4年	160名	160名	160名	120名	600名

<ホンダ テクニカル カレッジ 関西>

学科名	修業年限	2021年度 入学定員	2年次	3年次	4年次	総定員
自動車整備科	2年	100名	100名	----	----	200名
自動車研究開発科	3年	----	----	40名	----	40名
一級自動車研究開発学科	4年	100名	100名	50名	50名	300名
自動車整備留学生科	3年	75名	50名	50名	----	175名

3. 役員、教職員の概要 (2022年3月31日現在)

(1) 役員 理事：10名 監事：2名 評議員：24名

(2) 教職員(嘱託、社会人講師含む)

	教 員	職 員	合 計
ホンダ テクニカル カレッジ 関東	48名	11名	59名
ホンダ テクニカル カレッジ 関西	34名	9名	43名
法人本部	-	8名	8名
合 計	82名	28名	110名

II. 事業の概要

1. 2021 年度の方針

2021 年度は、下記の方針で事業を推進しました。

① 学生/保護者に選ばれる学園の確立

- ・必要な知識・技能・資格を身につけさせる(一級、二級、三級整備士合格率 100%)
- ・行きたい企業へ就職させる(就職率 100%、第一志望内定率 100%)
- ・魅力ある学園生活の提供(在校生 CS 4.0pt 以上)

② 企業に選ばれる学園の確立

- ・社会人としてのマナーとマインドを育てる(企業 CS 4.0pt 以上)
- ・求人に応える輩出学生数を確保する(2022 年入学者目標数 515 名(期初)⇒ 420 名(11 月見直し))

2. 2021 年度の事業

(1) 学生の状況 (2022 年 3 月 31 日現在)

単位:名

	自動車整備科		一級自動車研究開発学科				自動車留学生科 (W)			自動車研究開発科 (W)			合計
	1年	2年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
関東校	81	79	141	138	125	109	-	-	-	-	-	-	673
関西校	92	72	66	55	28	25	74	49	41	-	-	18	520
合計	173	151	207	193	153	134	74	49	41	0	0	18	1193

(2) 学生募集の状況

単位:名

	1年生定員 (2022年度)	応募		2022年度 入学者
		2021年度	2022年度	
関東校	280	267	234	210
関西校	250	301	203	190
合計	530	568	437	400

(3) 就職の状況 < 求人数と内定数 >

単位:名

	ホンダグループ				ホンダグループ以外		合計
	四輪販社	二輪販社	本田技研	ホンダ関連	自動車関連	その他	
求人数	939	134	23	144	749	195	2,184
内定者	201	13	18	31	62	6	331
(内定比率)	60.7%	3.9%	5.4%	9.4%	18.7%	1.8%	100.0%

(4) 資格取得の状況

<一級自動車整備士(筆記試験のみの結果・口述試験は5/8実施 結果は5/下旬)>

	受験者	合格者	合格率
関東校	54名	46名	85.2%
関西校	25名	25名	100.0%
合計	79名	71名	89.9%

<二級自動車整備士>

		受験者	合格者	合格率
関東校	ガソリン	214名	210名	98.1%
	ジーゼル	214名	211名	98.6%
関西校	ガソリン	185名	185名	100.0%
	ジーゼル	167名	167名	100.0%
合計		780名	773名	99.1%

<三級自動車整備士(関西校自動車整備留学生科)>

	受験者	合格者	合格率
関東校	----	----	----
関西校	74名	74名	100.0%
合計	74名	74名	100.0%

(5) その他の事業実績

① 学生・保護者に選ばれる学園の確立

- ・就職率は、100%を達成しました。

第一志望企業への内定率は目標の100%に対して74.8%となり、就活セミナーの改善や学生の希望に沿った求人の新規開拓に取り組み、引き続き就職指導の充実を図って参ります。

- ・退学率は、目標3.0%に対して、5.2%となりました。

主な退学理由は「成績不振」「進路変更」「意欲喪失」であり、退学者の78%が入試の際に、筆記試験免除・面接試験のみでの入学判定であったことから、来期以降は学生本人の就学意欲確認を重視すると共に、必要に応じた筆記試験の在り方も見直して参ります。

- ・国家資格の合格率は上記の通りとなりましたが、関西校においてはいずれも目標である100%を2年連続で達成することができました。関西校での実績事例を関東校にも水平展開すると共に、個別フォローの充実や弱点領域強化を図りながら、引き続き合格率100%に向けた取り組みを進めて参ります。

- ・在校生CSは、目標4.0pt以上に対して、3.76ptとなり、前年を下回りました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学内や寮における活動が制限されたこともあり、在校生にとっては窮屈な学園生活を強いられたことから、例年以上に就学環境、寮生活の満足度が低評価となりました。また、就職関連、授業満足度のポイントダウンが顕著であり、これらの項目に対する改善に取り組んで参ります。

② 企業に選ばれる学園の確立

- ・企業 CS は、目標4.0pt以上に対して、3.73ptとなりました。

社会人としてのマナーとマインドを育てるため、実践的マナー研修の実施、社会人基礎力の指導強化に取り組み、社会人意識に関する項目についてポイントが向上したものの、まだまだ企業が求める人材像と実際にはギャップがあり、引き続き企業からの期待に応える技術者を育成するために必要なカリキュラムや指導に取り組んで参ります。

- ・求人に応える輩出学生の確保について、2022年度生の入学者数は、対前年比－76名減の400名となりました。厳しさが増す環境のなか、「オープンキャンパスの内容充実」や「販社様と連携した企業推薦学生の増加」、「高校訪問や校内ガイダンスの強化」等、多くの施策を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県を跨ぐ移動制限や学生・保護者の地元志向の強まりなどで遠方地域からの学生が減少すると共に、特に留学生に於いては日本国内に入国することができないため、大幅に入学者が減少するという結果となりました。

これまでに取り組んできた学生募集活動に加え、新たな奨学金制度を活用した販社様との連携強化による企業推薦の拡大や、近地域からの確実な学生獲得などを通じ、可能な限り定員に近づけられるよう学生募集活動に取り組んで参ります。

Ⅲ. その他

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、2021年度は以下の感染予防対応を行いました。

- ・サーマルカメラ導入による非接触での体温測定を更に充実させ、顔認証検温データにより全学生・教職員の健康状態を管理
- ・登校時の手洗い・体温測定に加え、朝のホームルームでの教員・学生同士での相互確認
- ・登校を基本とするものの、オンラインでの授業が可能な場合は、Web対応にて学内感染拡大を防止
- ・実習時の感染拡大防止対応として、保護メガネ、マスクの着用、工具・設備の除菌、実習現場の換気などを行い、密集・密接を回避するために人と人の距離を保てるよう少人数グループで作業を実施
- ・寮生の罹患発生時の対応として、寮隔離部屋を設け、陽性者、濃厚接触者を個室隔離
- ・オミクロン株の特性を踏まえた、罹患後の復学基準の見直し
- ・入学式、卒業式共に、出席者を入学生・卒業生と学校教職員のみ絞って実施

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出される中、学園におきましても多くの学生が罹患致しました。そのような中、学生・教職員の健康を第一に考えて感染予防を最大限に図るとともに、もし新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、「感染してしまった学生から他者への感染及びクラスターを発生させない」、「感染してしまった学生本人を守る」、「地域、保護者の皆様への感染情報開示を行い、安全安心を担保する」という考え方にに基づき、登校不可中に於いてはオンラインを活用した就学のサポートなど、罹患した学生に寄り添った対応を今後も継続して取り組んで参ります。

以上